

第7回政府間協議について

平成14年12月
研 究 開 発 局

1．開催日程：平成14年12月9日（月）～10日（火）

2．開催場所：バルセロナ・スペイン

3．日本、EU、ロシア、カナダの4極

4．結果概要：

（1）近況報告

カナダ：

- ・他の政府に先駆けサイト提案したが、現在協議の状況が変わってしまったことを認識し、来年の早い時期に現行の提案を変更すべく、見直していることを表明した。

EU：

- ・ビュスカン欧州委員会委員長とフランスとスペインの研究大臣との間で、それぞれのサイト提案についての公式の意見交換があり、欧州のサイトを1カ所に絞り込むことの重要性が強調された。

日本：

- ・日本へのITER誘致における安全確保の基本的な考え方と安全規制のあり方について文部科学省において検討を行ってきたが、年内にその中間報告が取り纏められる予定であると報告した。

ロシア：

- ・科学アカデミー理事会は、先月、核融合研究の状況に対するレビューを行い、ITER計画へのロシアの参加を強く支持した。

国際チーム：

- ・米国エネルギー省の使節団が、ガルヒンクの国際チームを訪問し、ITERへの米国の再参加に関連してITERのコスト見積もりを評価した。米国の使節団の報告書では、ITERのコスト見積もりが健全であることが確認されている。

(2) サイト共同評価についての報告

9月にクラリントンのカナダの提案サイト、10月に六ヶ所村の日本の提案サイト、12月上旬にカダラッシュ（フランス）の欧州の提案サイトの評価作業が行われ、本政府間協議終了後にバンデヨス（スペイン）の欧州の提案サイトの評価作業が行われる。サイト共同評価の最終報告書はロシアのサンクト・ペテルスブルクにおける2月の政府間協議において提示される予定。

(3) 費用負担と調達配分

今後も技術的観点から議論を継続。

(4) 移行措置

I T E Rの開始までの間、技術的な移行等を円滑に行うI T E R移行措置について、移行措置活動の参加へのI A E A事務局長の呼びかけに対する各参加極からの返答手続きが完了しつつあり、来年から同活動が開始される見込みであることを確認した。

I T E R技術調整活動の最終報告書を確認した。

(5) 日程

第8回政府間協議 2月18～19日 サンクト・ペテルスブルク
I T E Rの共同実施の協定案を来年の中頃までに完成させることを目指して、協議を進める。

(6) その他

政府間協議の冒頭に、スペイン科学技術大臣のジョゼフ・ピケとカタロニア州政府産業局長のアントーニ・グールギが代表団を歓迎し、ピケ大臣は、スペイン・バンデヨスサイトの提案に対するスペイン政府、州及び地元自治体の全面的な支持を強調した。

各参加極は、中国と韓国からのI T E R計画への興味の表明を受け、I T E R政府間協議プロセスへの参加の可能性について両国との議論を継続している。

(別紙)

第 7 回 I T E R 政府間協議 (N 7) 参加者

日本	1) 間宮 馨 2) 藤田 直 3) 素川 富司 4) 大竹 暁 5) 岸本 浩 6) 吉川 允二 7) 野戸谷 秀樹 他	文部科学審議官 (代表) 外務省軍備不拡散担当大使 文部科学省官房審議官 文部科学省核融合開発室長 日本原子力研究所技術参与 日本原子力研究所顧問 青森県理事
E U	1) フィンチ 2) リゴン 3) アルジャンドレ 4) バランダス 5) バンデンプラス 6) ワトー 7) フェルナンデス・ルイス 他	欧州委員会研究総局顧問 (代表) 欧州委員会通商総局 欧州核融合開発協定科学技術 諮問委員会議長 欧州核融合開発協定運営委員会 議長 核融合エネルギー計画調整 委員会副議長 フランス原子力庁最高顧問付 顧問 (ペラ最高顧問代理) 欧州委員会研究総局 エネルギー研究課長
ロシア	1) ヴィノグラドフ 2) ベリコフ 3) ソコロフ 4) ボロコフ 5) シュチュルバク 他	前原子力省第一次官 (代表) クルチャトフ研究所総裁 原子力省原子力科学技術本部長 原子力省第一次官 科学省副本部長
カナダ	1) キャンベル 2) チャーチ 3) ポッター 4) スチュワート 5) スリマ 6) ヘミングズ 他	カナダ連邦天然資源省 (代表) 外務貿易省科学技術部上級顧問 オンタリオ州政府 I T E R カナダ会長 I T E R カナダ顧問 Canatom NPM Inc.
国際チーム	エメール 下村安夫 他	国際チームリーダー 国際チーム共同リーダー

ITERに関する今後のスケジュール

(参考)

2002年

6月 第4回政府間協議(6月4 - 6日、於:フランス)
日欧サイト提案

9月 第5回政府間協議(9月17 - 18日、於:カナダ)
共同評価進捗状況報告

カナダ・クラリントン
サイト共同評価

10月 第6回政府間協議(10月29 - 30日、於:青森)
共同評価進捗状況報告
シナリオに関する議論

日本・六ヶ所村
サイト共同評価

12月 第7回政府間協議(12月10 - 11日、於:スペイン)
共同評価進捗状況報告
シナリオに関する議論

フランス・カダラッシュ
サイト共同評価

スペイン・バンデヨス
サイト共同評価

2003年

2月 第8回政府間協議(2月18 - 19日、於:ロシア)
サイト共同評価報告
シナリオ(第1次ドラフト)提出
・費用分担
・主要人事
・物納の調達配分等

ハイレベルでの協議を想定

第9回政府間協議
第10回政府間協議

サイト依存の共同実施協定案等の策定
(交渉当事者は2003年中頃に協議終結を期待)

協定の批准(我が国は2004年の通常国会を想定)等を経て、
2004年度にはITERの建設運営にあたる国際機関の発足

プレス・リリース（仮訳）

I T E R 政府間協議をスペインで開催

- 4カ所のI T E Rサイト候補地のうち3カ所のサイト評価作業を完了、参加についての国際的な興味が高まる -

バルセロナ、スペイン - 2002年12月10日

第7回政府間協議において、カナダ、EU、日本及びロシア連邦の代表は、核融合エネルギー研究プロジェクトであるI T E R計画の実施に向けての作業を継続した。スペインのバルセロナにおける会合では、I T E R計画の実施協定案や、サイト選定のプロセス、I T E Rを実施するための国際機関の組織、運営、職員の構成などの多くの面で進捗をみた。

スペイン科学技術大臣のジョゼフ・ピケとカタロニア州政府産業局長のアントニー・グールギが代表団を歓迎した。ピケ大臣は、開会挨拶の中で、I T E Rが科学技術面における素晴らしい取り組みであり、I T E Rの参加極が核融合エネルギーの実現という夢の近くまできているというスペインの認識について言及した。ピケ大臣は、I T E R誘致のための欧州サイトであるバンデリョスの提案に対するスペイン政府、州及び地元自治体の全面的な支持を強調した。

カナダは、他の政府に先駆けてサイト提案を出したが、現在協議の状況が変わってしまったことを認識した。カナダ政府は、EUと日本から提出されたサイト提案を勧告し、2003年の早い時期に現行の提案を変更すべく、見直していることを表明した。

日本は、日本へのI T E R誘致における安全確保の基本的な考え方と安全規制のあり方について文部科学省において検討を行ってきたが、年内にその中間報告が取り纏められる予定であると報告した。

先週、フランスのカダラッシュにおける欧州の提案サイトの評価作業が行われ、サイト共同評価（J A S S）が完了間近である。これは2002年9月のクラリントンのカナダの提案サイト、及び2002年10月の六ヶ所村の日本提案サイトの評価作業に続くものである。最後のサイト共同評価作業は、今週後半に欧州の提案サイトであるスペインのバンデリョスにおいて行われる。サイト共同評価の最終報告書はロシアのサンクトペテルブルグにおける2月の政府間協議において提示される予定である。現在、政府間協議の参加極はI T E Rの4カ所の異なるサイトごとにシナリオの作成を始めようとしている。

I T E Rの調整技術活動についてのプロジェクトボードの最終報告書が提示された。計画の顕著な達成が認識され、各参加極はプロジェクトボード議長のベリコフ露科学アカ

デミー会員のリーダーシップとITERの進展に果たした重要な役割に感謝を示した。各参加極によって設定されたITER移行措置は、ITER国際核融合エネルギー機関（仮訳）が設立されるまでの技術と工学の継続性を保証するものである。

各参加極は、中国と韓国からのITER計画への興味の表明を受け取り、ITERの政府間協議プロセスへの参加の可能性について両国との議論を継続している。

米国の使節団がガルヒンクの国際チームを訪問し、ITERへの米国の再参加に関連してITERのコスト問題を評価したという国際チームリーダーの報告がなされた。米国の使節団の報告書では、ITERのコスト評価が健全であることが確認されている。

今後数ヶ月にわたって、政府間協議のメンバーと技術的専門家による会合が予定されている。彼らはITERの共同実施の協定案を2003年中頃までに完成させることを想定している。

第7回政府間協議の結論として、各参加極はITERに関する国際的な興味が高まっていること、将来のエネルギー源としての核融合の開発の進展への支持が示されていることを歓迎した。

次回の政府間協議はロシアのサンクトペテルブルグにおいて、2003年2月18日～19日に開催される予定である。

Joint News Release

ITER NEGOTIATORS MEET IN SPAIN Assessment completed for three of four potential sites, growing international interest in participating

Barcelona, Spain, December 10, 2002 – At their Seventh Negotiations Meeting, delegations from Canada, the European Union, Japan and the Russian Federation continued their work towards the implementation of the ITER international fusion energy research project. The Meeting in Barcelona, Spain, saw progress on a number of fronts including the drafting of the Agreement to implement the project, the process for site selection, and the organization, management and staffing of the international body that would implement ITER.

Mr. Josep Piqué, Minister of Science and Technology of the Spanish Government and Mr. Antoni Gurgui, General Director of Industry of the Catalan Government, welcomed the delegates. In his opening remarks, Minister Piqué referred to Spain's recognition of the impressive scientific and technological challenge that ITER represents and how close the ITER participants are to making the dream of fusion energy come true. Minister Piqué emphasized the unconditional support of the Spanish Government and regional and local authorities for the proposal of Vandellós as a European site for hosting ITER.

Canada advised the Negotiations Meeting that the current Canadian offer, which was the first firm proposal made by any government, was put forward in a context that has now changed. The Canadian Government indicated that in light of the competing proposals made by the European Union and Japan, it is reviewing its current offer with a view to indicating a revised position early in 2003.

The Japanese delegation reported that discussions both on the basic approaches to the safety management of ITER and on the safety regulations for hosting ITER in Japan are continuing in MEXT. An interim report is to be issued by the end of this year.

The Joint Assessment of Specific Sites (JASS) is nearing completion following last week's assessment of the European site at Cadarache, France. This followed the assessments in September, 2002 of the proposed Canadian site at Clarington, and in October, 2002 of the Japanese site at Rokkasho-mura. The last site assessment will occur later this week at the proposed European location at Vandellòs, Spain. The final report on the JASS is to be presented to the Negotiators at the upcoming February Negotiations Meeting in St. Petersburg, Russia. The participants are now beginning to develop scenarios for each of the four different site options for ITER.

The final report of the Project Board on the Co-ordinated Technical Activities for ITER was presented. The program's significant accomplishments were noted and the delegations thanked the Chairman of the Board Academician Evgeny Velikhov for his leadership and for the important role he played in the development of ITER. The ITER Transitional Arrangements put in place by the Participants will ensure technical and engineering continuity until the ITER International Fusion Energy Organization is established,

The delegations received expressions of interest from the People's Republic of China and the Republic of Korea in the ITER project and discussions are underway with both countries regarding the possible steps to join the ITER Negotiations process.

The delegates were informed by the International Team Leader that a United States mission had visited the International Team in Garching in order to discuss and assess costing issues on ITER in relation to a possible US reentry into ITER. The mission's report confirmed the soundness of the ITER cost estimates.

Further meetings are planned for the Negotiators and technical experts over the next few months. They are intended to finalize, by mid-2003, the drafting of the Agreement to implement ITER.

At the conclusion of this seventh Negotiations Meeting, the delegations welcomed the growing international interest in ITER and the support it demonstrates for proceeding with the development of fusion as a future energy source.

The eighth Negotiations Meeting will be held in St. Petersburg, Russia on February 18 - 19, 2003.

For further information, contact:

Canada

Ministry of Natural Resources Canada
Jim Campbell
+1 (613) 996-2663, jicampbe@nrcan.gc.ca

Laura Ferguson, Iter Canada
+1 (416) 203-9409, laura@itercanada.com

European Commission

Jean-Pierre Rager
+32 (2) 295-3085, jean-pierre.rager@cec.eu.int

French Site Information

Jean Jacquinot
+ 33-44-225-7001, jean.jacquinot@cea.fr

Spanish Site Information

Carlos Alejaldre
+ 34-91-346-6153, carlos.alejaldre@ciemat.es

Japan

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology
Office of Fusion Energy
Satoru Ohtake
+81 (3) 5253-4111 ext. 7820, ohtake@mext.go.jp

Russian Federation

Ministry of the Russian Federation for Atomic Energy
Yury Sokolov
+7 (095) 239-2455, sokolov@minatom.net

BACKGROUNDER

- ITER, which means “the way” in Latin, is an international fusion energy research and development project with the goal of taking the next major step in the development of fusion energy as a safe, clean and sustainable energy source for our planet. The ITER International Fusion Energy Organization is the entity that will implement ITER.
- Fusion is the energy that powers the sun and the stars. Research into fusion has been conducted since the 1950's, and recent advances have intensified interest in the technology. It is inherently safe and clean - any change in the process will result in an immediate shutdown and no fuel waste or greenhouse emissions are produced.
- ITER would be the world's largest international cooperative research and development project next to the space station and would be constructed for approximately \$4 B US over 10 years and operated for about the same amount over 20 years.
- The international ITER co-operation was launched in 1987. The design of ITER and building of key prototype components was completed in 2001. Negotiations began in November 2001 towards the joint implementation of the project – where it will be built, how the costs and procurement responsibilities will be shared, and how it will be managed and operated. Current ITER participants are Canada, the European Union, Japan and the Russian Federation.
- Four offers to host ITER have been submitted. The first was from Canada with an offer to host ITER at its Clarington site near Toronto, submitted on June 7, 2001. On June 5, 2002 three additional site offers were submitted, two from the European Union, one at Cadarache, France and one at Vandellós, Spain, and one site from Japan at Rokkasho-mura in Aomori Prefecture. Under the framework of the Negotiations, a group of international experts is conducting the Joint Assessment of Specific Sites.

The upcoming Negotiations Meeting is planned for St. Petersburg, Russia February 18 - 19, 2003.

For more information, contact the preceding list and visit the ITER-related websites:

- www.iter.org
- www.itercanada.com
- <http://www-fusion.ciemat.es/fusion/iter/ITER-eng.html>
- <http://www-fusion-magnetique cea.fr/>
- www.efda.org
- www.jaeri.go.jp
- <http://www.pref.aomori.jp/iter/index.html>
- www.iterru.ru
- www.mext.go.jp